



感震ブレーカーは、地震の時、 自動で電気を遮断。設置しましょう。

ご存じですか？ 地震による火災の主な原因は電気という事実。

令和6年能登半島地震における輪島市大規模火災では、火気器具等の使用がなかったこと、屋内電気配線に溶けた痕跡が認められることから、地震の影響により電気に起因した火災が発生した可能性が考えられます。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

※総務省消防庁消防研究センター

「令和6年能登半島地震において発生した輪島市大規模火災における消防庁長官の火災原因調査」より作成



南海トラフ巨大地震はいつ発生するか分かりません。
住宅の耐震化や家具の固定とあわせて、
通電火災の対策に効果的な感震ブレーカーを設置しましょう。



内閣府動画



総務省動画

令和8年4月1日現在

感震ブレーカーはいろいろなタイプがあります。
製品ごとの特徴や注意点を理解して、選びましょう！
金額は目安でお近くの電気屋さんなどにご相談ください。

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ(内蔵型)

費用：約5～8万円(標準的なもの) ※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

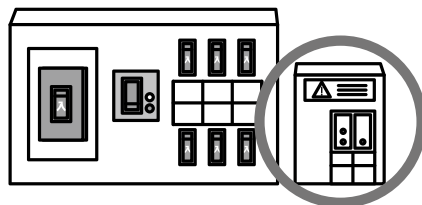


分電盤タイプ(後付型)

費用：約2万円 ※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



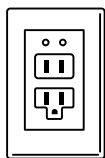
コンセントタイプ

費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

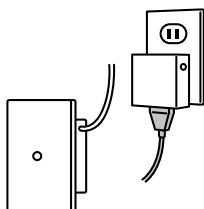
(埋込型)

壁面などに
取り付けて
使うもの
※電気工事が必要



(タップ型)

既存のコンセント
に差し込んで
使うもの
※電気工事が
不要

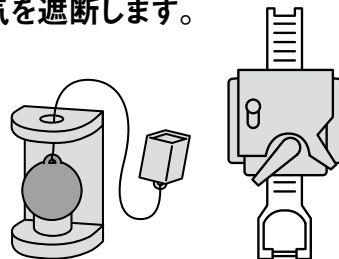


簡易タイプ

費用：約2～4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



おもり玉式

バネ式

感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

地震検知

検知から3分後

警報 ON(3分間)

警報 OFF

通電

通電遮断

地震探知後3分以内に
停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを
自動遮断します。

感震ブレーカー等には認定制度があります。
「感震機能付住宅用分電盤認定制度」や
「消防防災製品等推奨制度」に基づき、所要の性能が
確認された製品には、認証マークが貼られています。

